

各位

総額9.3億円のシリーズAファイナンスを実施

C4U株式会社（以下「C4U」といいます。）は、今般、6社を引受先とする第三者割当増資により、総額9.3億円のシリーズAファイナンスを実施いたしましたのでお知らせいたします。

本シリーズAラウンドには、DCIパートナーズ株式会社が運営管理する大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合がリード投資家となり、エムスリー株式会社、ニッセイ・キャピタル11号投資事業有限責任組合、みずほライフサイエンス第1号投資事業有限責任組合、大日本住友製薬株式会社及び株式会社タウンズの計6社が参加しています。

【資金調達の目的】

C4Uは、国産のゲノム編集技術であるCRISPR-Cas3を基盤技術とし、2018年3月に設立された大阪大学発のバイオベンチャー企業です。C4Uの基盤技術であるCRISPR-Cas3技術は、C4Uの創業メンバーである東京大学医科学研究所先進動物ゲノム研究分野の真下知士教授、大阪大学微生物病研究所の竹田潤二招へい教授らの研究成果を基に開発されたCRISPR-Cas3を用いた新しいゲノム編集技術です。CRISPR-Cas3技術は、オフターゲット変異が少なく安全性が高いことやターゲット遺伝子とその周辺を広く削ることができるといった特徴を有し、現在世界中で研究が先行しているCRISPR-Cas9の複雑な特許状況に影響されない、これに対抗し得る有望なゲノム編集技術として注目を浴びています。

C4Uは、このCRISPR-Cas3技術を用いて、遺伝性疾患に対する新規の遺伝子治療法等を開発すること及び同技術のプラットフォーム展開を目指しており、この度の調達資金により事業を加速してまいります。

また、割当先のうち、[株式会社タウンズとは、CRISPR-Cas3ゲノム編集技術を用いた新型コロナウイルス診断薬の共同開発](#)をすでに実施しております。また、大日本住友製薬株式会社とは、今般の第三者割当に先立ち[共同研究提携契約を締結](#)し、CRISPR-Cas3技術の医療応用に向けて共同研究を開始いたします。両社との提携関係の強化により、診断薬事業及び創薬事業も一層の進展を目指してまいります。

【第三者割当増資 引受先】

- ・DCIパートナーズ株式会社が運営する「大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任

任組合」

- ・エムスリー株式会社
- ・ニッセイ・キャピタル株式会社が運営する「ニッセイ・キャピタル11号投資事業有限責任組合」
- ・みずほキャピタル株式会社が運営する「みずほライフサイエンス第1号投資事業有限責任組合」
- ・大日本住友製薬株式会社
- ・株式会社タウンズ

<用語の解説>

ゲノム編集技術：DNA切断酵素と人工的にデザインしたRNAなどを細胞に導入し、ゲノムの局所を選択的に切断、改変する技術です。

CRISPR-Cas3：CRISPR-Cas9同様に二本鎖DNAを切断しますが、crRNA（ガイド）認識配列が長い（27塩基のガイド配列）ことから、特異性が高く、オフターゲット変異（狙った部分以外の変異）が少ない、より安全なゲノム編集ツールです。また、大きな欠失を起こすことも可能なため、遺伝子の改変に加えて機能を失わせることも得意としています。

CRISPR-Cas9：現在広く利用されるゲノム編集技術の一種で、Cas9がガイドRNAと結合し、ガイドRNAの一部（20塩基のガイド配列）と相補的なDNAを選択的に切断します。ガイド配列を変更することにより、様々な塩基配列をもつDNAを選択的に切断することができます。

<本件に関するお問い合わせ先>

C4U株式会社 管理部
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号
大阪大学テクノアライアンスC棟7階
TEL/FAX：06-6369-7180
E-mail：info@crispr4u.com

以上